

## 会 議 事 録

1 会議名	平成23年度 第4回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	平成24年3月28日(水曜日) 午後2時30分から午後4時00分頃まで
3 開催場所	長岡市役所4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 本田委員長 長谷川剛副委員長  赤柴委員 磯部委員 今井いみ子委員  今井正昭委員 柄澤委員 菊池委員  鯉江委員 小坂委員 小山委員  近藤委員 佐合委員 関委員  竹内委員 竹日委員 長谷川和明委員  藤巻委員 松田委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部長  福祉保健部次長  福祉総務課長ほか関係職員  介護保険課長補佐ほか関係職員  長寿はつらつ課長ほか関係職員  健康課長補佐ほか関係職員  長岡市社会福祉協議会事務局長</p>
5 欠席者名	加邊委員、小林委員、関本委員
6 議題	<p>(1) パブリックコメントの実施結果について(報告)</p> <p>(2) 第5期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について</p> <p>(3) その他</p>

7 審議の内容	
発言者	議事内容
福祉総務課長補佐	<p>1 開会</p> <p>ただいまから、平成 23 年度第 4 回長岡市高齢者保険福祉推進会議を開会いたします。</p> <p>本日は、加邊委員、小林委員、関本委員から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>まず始めに資料の確認をいたします。事前にお配りした資料といたしまして、次第、資料 1「パブリックコメントの実施結果について(報告)」、資料 2「第 5 期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)」、また、本日お配りした資料といたしまして、本日の配席図、事前配布資料の資料 2 計画(案)の差し替えになります 18 ページの「5 高齢者就業状況」が 1 枚、108 ページの差し替えになります「(3) 日常生活圏域別地域密着型サービス見込量の推計」がそれぞれ 1 枚ずつ、以上でございます。不足している資料はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、これより本日の議題に入ります。</p> <p>ここからは、本田委員長様の進行でお願いいたします。</p>
委員長	<p>皆さん、どうもごめんください。3月28日という年度末で、各団体、各施設、各皆様の地域において、お忙しいところ、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。今日は、第 5 期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の 4 回目になります。前回もいろいろ日常生活圏域の実態調査等のお話をいただきながら、計画については、5 月からずっと進めてきまして、今日は全体のまとめということになるかと思います。活発な御意見、説明等々をお願いしたいと思っております。</p> <p>では、進めさせていただきますけども、今日は会議の傍聴等々はございませんので、そのまま進めていきたいと思っております。</p> <p>議題に移ります。</p>
委員長	<p>2 議題</p> <p>(1) パブリックコメントの実施結果について(報告)</p> <p>それでは議題のパブリックコメントの実施結果について、事務局から説明をお願いします。</p>

福祉総務課長

パブリックコメントについて、御報告を申し上げます。資料につきましては、資料 1 でございます。

第 5 期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）に対する意見募集結果ということでございます。パブリックコメントにつきましては、1 月 16 日から 2 月 6 日までということで、ホームページに素案を掲載させていただきまして、意見をいただく様式等も整えました。本庁、いわゆる幸町の市役所、それから支所等にも素案をペーパーで配置しまして、御覧いただく体制づくりをして、意見を求めました。

提出いただきました意見は、2 人と 1 団体でございます。項目数につきましては、そこに記載をしております 19 項目でございます。それぞれを、整理分類しまして、寄せられた御意見に対する市の考え方ということで整理してございます。計画書の文言修正等を行ったものが 7 件でございます。それから、計画書としては、修正はしませんでした。実際に今後、この計画に基づきまして事業運営等々を実施する際の参考にさせていただき意見を 6 件です。その他の意見の内容は、現状がどうかという御質問、あるいはその説明をさせていただくことで対応できるかというものが 5 件でございます。そのほか 1 件につきましては、具体的にグループホームの整備計画につきまして御意見をいただきましたが、これは具体的な内容でございますので、特段、掲載はしませんでした。

具体的な内容は、1 から 18 まで項番をふって記載をさせていただいており、この中で計画書に反映させた部分は、次の議題の計画書の御説明の中でさせていただきますので、個々の説明は省かせていただきたいと思います。

以上が、パブリックコメントについての報告でございます。

委員長

パブリックコメントの関係で報告いただきました。提出件数 19 件ということでございます。計画に反映するものと、今後の参考とする意見ということで承りました。この点について、何か感想などございますか。よろしいでしょうか。

これは計画に反映した意見ということでございますので、次に移らせていただきます。ここが本題になろうかと思います。

(2) 第 5 期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）

<p>委員長</p>	<p>について 事務局から御説明をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>案として作成しましたものを事前にお配りしてございます。資料2を御覧いただきます。</p> <p>表紙をめくっていただきますと、「はじめに」というのがございます。これは空欄になってございますが、現在作成中でございます。製本する段階で、市長のあいさつを入れさせていただきます。</p> <p>それから、目次等はよろしいのですが、1ページを御説明させていただきます。お配りした資料の中では、修正をした部分は網掛けしてございます。ただ、少々見づらい部分があって申し訳ないのですが、基本的には網掛けをしてございますので、その中でポイントになるものについて、それぞれ御説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>まず、パブリックコメントの中の文字の字体で、ゴシックと明朝が入り混じっております、統一した方がいいのではないかという意見をいただきました。ただ、表題はやはりゴシックの方がいいですし、文章は明朝の方が読みやすいのではないかということ、それからグラフの中の文字は、明朝よりゴシックの方が見やすいだろうということで、統一してない部分があったので、できるだけ統一しました。御意見は見やすくという趣旨でございましたので、見やすく体裁を整えました。また、見にくい部分があったら、御意見いただければと思います。これは、全体に関わる部分でございます。</p> <p>修正した部分でございますが、まず1ページの下の項番3、下から2行目でございますが、長岡市住宅政策マスタープランを付け加えさせていただきました。これはパブリックコメントの御意見で、整合性をとる計画として漏れているのではないかと御意見をいただきました。たしかに漏れておりますので、追加をさせていただきました。</p> <p>それから、4ページ。これも3つ目の黒丸、網掛けで書いてありますが、これは介護予防の概要と充実の部分が、充実に関する記載が概要の方に入っていたりし、混在しておりましたので、それを整理して分かりやすくさせていただいております。</p> <p>次が、16ページでございます。項番3の介護予防事業対象者の現況ということで、まず、現況の次の文章でございますが、前日も</p>

長寿はつらつ課長	<p>当協議会の委員の御意見で、チェックリストという表現があるが、これは何のことが、説明・記述があってもいいのではないかという意見がございまして、上の2行を追加させていただきました。あと、表の中の網掛けをしてあります数字でございますが、違った数字が載ってございましたので、正しい数字に修正させていただきました。</p> <p>次は18ページです。これは、本日机上配布で、差し替えをお願いさせていただきました。資料のところでございます、平成22年の国政調査の集計がまとまりましたので、平成17年との比較ということで追加をさせていただきます、この内容で記載させていただいております。</p> <p>次が21ページ。この表の中の、一番右の日常生活圏域ニーズ調査からわかる特徴でございますが、同じ圏域の中でも、ひとつの圏域にまとめてしまうと、合併の支所地域ごとの特徴が薄れてしまう、いわゆる地域固有の特徴があるのではないかということで、全部の圏域ではないですが、記述をさせていただきました。例えば、4番目の川東地区南・山古志地域を合併し、ひとつの圏域として捉えたのですが、施設整備等はこの圏域でいいのですが、介護予防事業を実施する場合には、こういったことを念頭におきながら事業実施をする必要があるということで、内容を記載させていただきました。</p> <p>次が22ページでございます。これは前回までなかったページでございます、御覧いただきますと、日常生活圏域ごとに医療機関、介護予防の状況、その他のいわゆる老人クラブ等々、それから社会福祉協議会でやっております各種地域サービスの状況等について記載をさせていただきました。これは施設整備と合わせて、地域の状況・現状把握という意味では必要だということで、追加をさせていただきました。</p> <p>次に、24ページ以降ですが、これは主にグラフでございます。パブリックコメントの中で、色分けや区分けが見づらいのではないかという意見がございましたので、明確に区分が分かるように、網掛けの種類等々を変えてみました。ここから30ページ辺りまで、グラフがいろいろあるのですが、全てについて見やすいように修正させていただきました。</p> <p>続きまして、この委員会の委員の皆様から御意見をいただいて、それで修正した部分を御説明させていただきます。</p>
----------	---

福祉保健部次長	<p>33 ページでございます。老人クラブの部分でございますけれども、計画案に記載が不足気味ではないかという御指摘をいただきまして、33 ページの老人クラブ活動の支援という部分で、現状と課題のところ、ニーズ調査の結果でも、老人クラブに対する高齢者の興味が高いことが分かったこと。一方で、高齢者の価値観の多様化に伴って、近年は会員数が減少傾向にあること。今後の方向性について、高齢者が社会の構成員として、いきいきとした生活を送っていくためには、老人クラブがますます重要であること。地域社会の担い手として、老人クラブを引き続き強力に支援していくこと。そのあたりを中心に、多少ボリュームアップした形で、加筆をしております。</p> <p>それから、67～71 ページまででございますが、第3節と第4節で、在宅介護者への支援の推進というところで、在宅介護者支援について、支援の方向性等が不明確であるのではないかという御指摘をいただいております。前回は、予算がらみの施策が決定できてなかった部分がございますので、きちんと書き込みができてなかったのですが、67 ページの在宅介護者への支援の充実等々、在宅介護者支援事業を創設する部分を入れたりとか、71 ページの相談体制・関係機関の連携強化というところで、認知症への対策としてのネットワークをさらに強化していくという部分の書き込みをいたしまして、在宅介護者の支援ということを明確に打ち出しております。以上でございます。</p> <p>それでは、79 ページを御覧いただきたいと思います。第5章の介護保険制度の推進と適正な運営の部分ですが、前回の会議からの主な変更点について、御説明させていただきます。</p> <p>まず、109 ページを御覧いただきたいと思います。総給付費の推計というところの表です。それと、110 ページの表、それから 111 ページの地域支援事業費の推計の表につきましては、前回も少しお話をさせていただきましたけれども、この1月に国の方から介護報酬の改定が示されまして、その内容を反映しての数値ということで、全て変更させていただきました。</p> <p>柄澤委員からの御意見で、109、110 ページの表には、金額だけではなく、人数も合わせて記載をお願いできないかという御意見をいただいていたところですが、見込量としましては、前の106、107 ページにそれぞれ分けて記載をさせていただいております。</p>
---------	--

す。この 109、110 ページは金額、前の 106、107 ページは見込量ということで、分けて記載をさせていただいておりますので、御了承いただきたいと思ひます。

それから、112 ページでございますが、保険料の算定、この表につきましても、鯉江委員から記載の仕方について御意見いただきまして、下の C 以降の欄は追記をさせていただいておりますので、最後の方で御説明をさせていただきます。

戻っていただいて、79～100 ページまで、介護保険サービスの各々の推移がございます。各サービスの一番下の段に、第 5 期計画値が載っております。24～26 年度までの計画値でございます。ここは、直近のデータである 23 年の 11 月の変更分までを反映させていただきまして、前回は 9 月分までのデータを使ったのです、2 ヶ月分の実績のデータを加味して最終的な見直しを行いまして、若干、数値が変わってございます。特に平成 24 年度の数値が、前回と少しずつ変わっているというところがございますので、御了承いただきたいと思ひます。

あとは、表の軽微な修正と追加でございます。108 ページになります。日常生活圏域別地域密着型サービス見込量の推計の表でございます。小さいので、見づらいかと思ひますが、この表を追加させていただきました。

続いて 117 ページ。これは、23 年度末の地域密着型サービスの日常生活圏域別基盤整備の状況ということで、これは、上段の 6 種類のサービスについて、表の体裁のため並べ替えをさせていただいた部分でございます。数値については、変更ございません。

それから 120 ページになります。4 の地域密着型サービスの日常生活圏域別基盤整備計画、この表につきましては、前回、横だったものを縦にしたということで体裁の変更です。

それから 121 ページの表につきましては、今回、新たに追加をさせていただいた表でございます。79～100 ページに書いてございます、各々のサービスの第 4 期の実際の状況と、第 5 期に係る整備計画が一覧で見られる表でございます。表の上の方は、面積、人口、認定者数、認定率ということで記載させていただいております。

あとは、142 ページからは、今回新たにつけさせていただいた資料編でございます。

142、143 ページは、総人口と被保険者数の現況です。長岡市の特徴的なものとしては、平成 32 年に後期高齢者数がピークを迎え

るということや、平成 37 年には、団塊世代が全て 75 歳以上になり  
ということで、総人口は減りつつも、高齢化率は高くなっていく状  
況でございます。

145 ページになりますが、第 4 期計画における介護保険サービス  
の実績値と進捗状況ですが、23 年度は 10 月までの審査分の見込値  
でございます。

149～155 ページまでは、用語の説明になっております。

156 ページは、本推進協議会の経緯を記載しました。

112 ページの保険料算定の表についてですが、真ん中より上半分  
の賦課対象経費が、いわゆる支出に当たる部分です。その下が収入  
ということで、国、県、市からの交付金と負担金の部分で、これら  
で保険料を計算しております。

支出の部分は、保険給付費として、居宅介護サービスから地域密  
着型介護サービスということで集計しまして、金額を計算しており  
ます。それから、賦課対象経費の下から 4 番目の地域支援事業費は、  
主に介護予防に係る事業費になります。これも 3 年間のトータルの  
額として、A の賦課総額としては、772 億 7,567 万円になります。

収入としては、国、県、市からの負担金、それと利用者負担金と  
して、介護予防教室等の参加費になります。また、支払基金交付金  
は、2 号保険者からいただく保険料分として、支払基金から交付さ  
れる額になります。これらの収入の合計が、B の合計として 619 億  
2,835 万 7 千円になります。

保険料の算定として、まず、A から B を引きます。それから、C  
の介護給付費準備基金を長岡市はもっておりまして、保険料に当て  
るため、2 億 5,395 万 9 千円を取り崩します。すると、D の保険料  
必要額が、150 億 9,335 万 4 千円になります。これが 1 号被保険者  
から納付いただく 21% 分の必要額ということになります。

保険料を集める際には、100% の収納率は難しいので、予想保険  
料収納率の 99.45% で保険料必要額を割り返しますと、F の賦課総  
額 151 億 7,682 万 7 千円になります。

これを G の補正第 1 号被保険者数で割ります。補正ということ  
で、実際に見込んだ保険者数ではありません。保険料の段階として、  
基準に対する割合があります。例えば、保険料段階の第 1 段階にな  
りますと、基準額の 0.4 の率で割り返した保険料額が、1 年で支払  
う額となります。また、一番所得のある 500 万以上の方が支払う第  
12 段階になりますと、基準額に 1.95 をかけた額が保険料になりま

<p>委員長</p>	<p>す。それぞれの段階に分類された保険者数について、それぞれの率をかけた上で、218,329人の補正人数になっております。</p> <p>そうすると、こちらの方で3年間で見込んだ被保険者の数は、それより5,600人余計の223,940人です。この差分は、保険料の構造としては、より低所得者に配慮した段階設定になっております。218,329人で割り返しまして、Hの年額の69,500円が保険料基準額になります。月額にしますと、5,792円になります。今現在の情報では、新潟県内20市中、最後から5番目です。新潟県内30市町村の平均は、5,634円になっております。説明は以上です。</p> <p>よろしいでしょうか。ページ数が130ページくらいあるなかで、前回から補正したところや、加筆したところがございますが、皆さんの感想、御意見はありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>2点ほど教えていただきたいと思います。</p> <p>まず18ページの差し替えの表で、推測ですが、65～69歳の就業者数は、平成17年度と比べて増えているのではないのでしょうか。今回の表の比率を見ても、70歳以上では大幅に就業者数が下がっておりますが、65～69歳は横ばい、もしくは増えていると思います。もし表を出すのであれば、今回は平成17年度の調査計を65歳から生涯まででくくってある一方で、平成22年度分は5歳刻みで表になっているので、平成17年度分も5歳刻みでないと比較ができないと思います。</p> <p>さらに、もし65～69歳で就業者数が減っていないということであれば、18ページの最初の文章にある、「高齢者数は増加していますが、平成17年の国勢調査と比較すると高齢者の就業者は減少傾向となっています」という言い回しが、果たしてそうであるのかというのがあります。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>単純な比較はできないと思いますが、平成17年から、65～69歳も減っておりますし、70～74歳も減っておりますので、表現としてはよろしいかと思えます。また、御意見のとおり、平成17年の表は総合計だけではなく、年齢ごとの表もあった方が比較しやすいと思いますので、製本の段階では、載せる方向で検討したいと思います。</p>

委員	<p>65～69歳について、平成17年のデータが6,546人となっていて、今回のデータが6,673人となっているので、増えているのではないですか。</p>
福祉総務課長	<p>差し替え前の平成17年のデータは、合併しました川口地域のデータが入っておりませんので、今回お配りした平成17年のデータとも違ってきていると思います。数字ではなくてパーセンテージで見ると、就業者の割合は減少しているのので、川口を含めても減少傾向にあると思われます。川口を含めた平成17年の年齢ごとのデータを集計させていただいて、それを基に、この表現でいいのかを検討したいと思います。</p>
委員	<p>それであれば、初めの文言を、平成17年の国政調査と比較すると、高齢者、特に70歳以上のとすると間違いはないと思うのですが、高齢者を65歳以上でくくってしまうと、データ不足ですし、疑問を感じます。</p>
本田委員長	<p>平成17年の国政調査に川口分を入れて、平成22年と一緒の表にしながら、文言も勘案したなかで、文書を見直すということによろしいですか。</p>
福祉総務課長	<p>こちらで責任を持って修正します。ありがとうございました。</p>
委員	<p>もう1点は、33ページの老人クラブ活動の支援について、今後の計画の参考として、あるいは修正できるのであればお願いしたいところです。</p> <p>平成21、22年度と実績が記載されており、平成23年度は計画値と実績値を比較するとだいぶ数字が乖離していると思います。通常はそれを踏まえて、平成24年度以降の計画を立てると思いますが、計画値の部分で、平成23年度はクラブ数を380、会員数を23,000人とし、実際に24年、25年、26年は、毎年5クラブ、200人ずつを増やすということは、1クラブ当たり40人ずつ増やしていこうということだと思います。過去の実績を見ると、22年度が358で、平成23年度の計画値は380ですので、22クラブの増で2,000人以上を増やすということは、1クラブ当たり100人ほど増やすという計画になります。それに対し、平成24年度以降の計画は、1クラ</p>

<p>委員長</p>	<p>ブ当たり 40 人ずつ増やしていくということで、この根拠が乏しく、大雑把ではないかと思しますので、今後計画を立てるときは、実績に基づいて計画をしてほしいです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>老人クラブの皆様も、会員を増やす活動をされていますが、価値観の多様化に伴って、参加される方が少なくなっているとお聞きますので、そこら辺の整合性や実態に基づいて計画を立ててほしいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今回は最終的な報告ということで、当初は日常生活圏域ニーズということに対して計画を進めるということに、その時点では全ぼうが見えなかったので意見を申し上げたことがあったのですが、最終的に、日常生活圏域の住民の要求ということではなく、ニーズに基づいた計画を細かく立てていくということが、大変明確に打ち出された計画ができあがったというように思います。</p> <p>そうしますと、日常生活圏域ニーズの精度がとても大事になってきます。最終的にパブリックコメント等を踏まえて、見やすいものにしたということですが、その中で回収率等が問題になってくると思います。24 ページで、49,000 人の有効回収数があったということですが、その後ニーズ調査に引用されているのが 43,000 人で、6,000 人の差がありますが、その辺りがどういう形になっているのか。また、その後の該当数もまちまちになっていて、見にくくなっているの、最終的に工夫していただけるといいと思います。各論の中にも引用されてくるのですが、例えば、46 ページのデータですが、未回収についても最終的には提示されるのかと思ったのですが、未回収は未回答としてデータが載っているので、最終的には有効回収数の 49,000 人のデータの方がいいと思います。これが、日常生活圏域ニーズ調査についての意見になります。</p> <p>それからもう 1 点、保険料についてですが、先ほど丁寧に説明いただいたとおり、基準額が 5,792 円ということで、県内でも高い方ですし、全国平均でもっと高い方です。第 4 期と比べても 1,000 円くらい高くなっているということで、決して保険料が安ければいいとは思っていませんので、その辺りを介護水準も含めて、いかに市民に理解していただけるかが大事になってきます。そこで、12 段階の設定をして、低所得者に配慮したということでしたが、安心</p>

	<p>してサービスが受けられるのであれば、負担はいとわないというのが多くの市民の方の気持ちだと思います。そうしたときに、5,792円、12段階の人は1.95倍と2倍近くの保険料の支払いをいただくというときに、市として、これだけの金額になったことについて説明をしたり、理解いただくための工夫を考えていらっしゃるのか伺いたしたいと思います。</p> <p>もう1点は、家族支援ということが、介護保険が創設されてから、全国的に後退していると思っていました。前は、家族支援ということを確認に打ち出していなかったもので、意見を言ったところ、今回は予算措置等、明確にしてもらいました。その中で、67ページの在宅介護者への支援の充実の現状と課題のところ、「介護者の精神的・経済的負担を軽減するため」とありますが、介護技術向上の研修等が今後の方向性としてありますので、肉体的というところも視野に入れていくということで、「精神的・肉体的・経済的負担を軽減するため」と変えてもいいのかと思いました。</p>
福祉保健部次長	<p>保険料の経緯については、先ほど御説明したとおりですが、5,792円という保険料の算定については、過去の実績や、これからの施設整備、在宅サービスを充実するための見込みを考慮したなかで、ぎりぎりのところで、負担額が少なくなるように算出しました。保険料の設定の考え方については、低所得者に配慮しまして、低所得者の保険料は1段階増やしました。全国的にも保険料が高騰するということから、長岡市では第3段階という、世帯全員が非課税で、合計所得金額が80～120万円以下というランクを作りました。低所得者段階の基準額に対する割合も0.4と低率になっており、この部分を1段階増やすことにつきまして、所得のある方からお金をいただく必要があるということで、それらの方の段階も2段階増やしました。従来の9段階から3段階増やして、今回は12段階になっております。それと、基金の取り崩しということで、介護保険事業のなかで、第4期までの積立金を金額上昇の緩和に使ったということです。</p>
委員長	<p>委員の質問の内容は、市民にわかりやすく伝える方法について、聞きたいということだと思います。</p>
委員	<p>そうです。保険料が全国的、県内においても高いなか、この金額</p>

<p>委員長</p>	<p>増は、地域密着型サービスの費用増額によるものもあると思うのです。多くの自治体では、地域密着型を諦めているところが多いなか、当市では地域密着型に力を入れており、それは、安心して在宅生活を続けていきたいという人々の意識が高いために、実現しようとしているというようなことを説明することで、多くの人から快く負担してもらえよう環境整備の工夫を考える必要があるということです。</p> <p>保険料の基準額が出てくる過程のなかで、説明してほしいということですね。ありがとうございました。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>御指摘いただいたのは本筋のところでした、私どもは保険料の算定だけではなくて、介護保険事業計画を作るに当たって、この3年間でどういうところに重点をおいて、福祉サービスを向上させるかを念頭に構成したわけですが、大雑把に言えば、在宅重視なわけですが、一方で、施設整備で、必要性の高い特養の待機者の解消についても財政のなかで盛り込んでおりますので、3年間で見込んでいる事業に対して、できるだけ対応できるようにしてあります。保険料が上がらざるを得ない状況のなかで、減額に対する手は限られておりますが、基金の取り崩しだったり、段階区分を増すことで、負担の軽減、緩和をするということで、重要だと思っております。</p> <p>今日、実は本会議の最終日で、関係予算も既決いただきましたが、その中でも介護保険予算案の審議において、厳しいなかでも保険料の減額については対応していくということで、一定の評価もいただいておりますので、そういう意味では、御指摘のとおり算定の手法だけを述べるのではなく、それほど詳しく書けないかもしれませんが、御指摘のあったことについても追加しておきます。ありがとうございました。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>24ページのニーズ調査について、グラフの数値 43,302 と有効回収数 49,000 とで、約 6,000 弱違うということについてではありますが、結論から申し上げますと、有効回収数の表記を修正させていただきます。ニーズ調査のなかで、調査の協力を同意しますという欄がございまして、ここを未記入で回答をいただいた方が約 6,000 人弱おられました。これが、上の有効回収数には入っているのですが、下のグラフには入っておりませんので、上の有効回収数を 43,000</p>

<p>長寿はつらつ課長補佐</p>	<p>くらいに修正します。ありがとうございました。</p> <p>委員から御意見いただきました、67 ページの在宅介護者への支援の充実のところ、「肉体的」という言葉を追加させていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>鯉江委員</p>	<p>ニーズ調査のnの件についてですが、24 ページの43,302 というのはわかりましたが、他のグラフでは無回答が入っていたり、入っていなかったりもするので、分かりにくいです。43,302 が全数であれば、その中のある回答をした人だけが対象で、だから人数が少なくなっている、というように書いていただかないと、なぜnが変わっていくのかという感じがします。そのあたりをしっかりといただきたいのが感想です。</p> <p>それと、21 ページの圏域の特徴の括弧内は、全体の平均に対する数字だと思うのですが、それは注意書きがないとわからないと思います。</p> <p>もう一点は、112 ページの保険料の算定の賦課対象経費の中に入っている、平成24年度の居宅介護サービス費で9,490,828千円とありますが、前の方を見ていっても、この数字がどこにも出てきていないようです。109ページの居宅介護サービスは8,923,252千円となっているのですが、112ページと数字が違っているのはなぜか、その辺の対応がどうなっているのか説明していただけるとありがたいです。以上です。</p>
<p>福祉保健部次長</p>	<p>21 ページの圏域の特徴の括弧書きですが、上から まで四角に囲まれた部分がございます。高齢化率は、長岡市の全体の平均値25.3%に対して、例えば、川東地区西では高齢化率が高く、プラス3ポイントで28.3%であるという意味でございます。以下同様に、はマイナス、市の平均よりも低いということでございます。その説明を注意書きに記載したいと思います。</p> <p>次に、112 ページについてですが、109 ページの表の居宅介護サービス費8,923,252千円という数字がございます。この中に、特定福祉用具購入が19,852千円あるのですが、この額については、112ページの居宅介護サービス費9,490,828千円の中からは除外しております。そういったサービスの違いがあり、算出の仕方が違うことを記述させていただきます。</p>

福祉総務課長	<p>24 ページ以降の表記の仕方、nの違いについて、今ここで回答は申し上げられませんが、御理解いただけるように修正したいと思います。</p>
委員長	<p>だれもが見て、分かりやすい形になったらよろしいかと思ます。そのほか、皆さんで御意見ありますか。</p>
委員	<p>3点ほどお願いしたいと思います。</p> <p>まず1点目は、6ページの地域包括支援センターの記述の件ですが、適切かどうかは御判断をおまかせしますが、今回の医療改正の柱において、医療連携が重要視されていることをうたっているなかで、在宅医療連携拠点整備で全国100箇所を整備するというところで、その中には地域包括支援センターとの協働とか指導が入っているわけです。何らかの形で、地域包括支援センターは医療機関との連携があるということ盛り込んでもいいと思ます。</p> <p>2点目は76、77ページです。これは前回の委員会でもお話ししましたが、昨年の高齢者住まい法の改正で、10月からサービス付き高齢者向け住宅が展開されるようになっていますが、実は全国的にいろいろな弊害が出ていることが報道されていて、いわゆる囲い込みとして住宅地ではない場所に大きなものを作って、そこに囲い込んで、その中で全てのサービスを行うという所がいくつかあるそうです。先般も、新潟市の医師会で同じような話をされていた先生がいらっしゃいましたが、すでに県内でもそういったことがあると言われていました。実際は事業者が申請して造るという形になりますので、今後の方向の中に、「補助制度等の周知と活用の促進に努めます」という記載があるのですが、市も適正な設置について関与するという一言を入れていただければありがたいです。</p> <p>3点目は、106ページの介護保険サービスの見込量の推計を見ると、平成24、25、26年度と増えていくと思ますが、小規模多機能型居宅介護だけが減っているのはどういうことでしょうか。</p>
福祉総務課長	<p>順番が逆になりますが、まず最後の御質問の小規模多機能型居宅介護が減少していることについては、現行の小規模多機能型居宅介護から複合型サービスに移行するということがございますので、単独の小規模多機能としては減少しているということです。そういっ</p>

	<p>たことを表に付け加えたいと思います。</p> <p>それから 77 ページの住宅の関係です。市としては、御相談をいただければ、立地場所や規模、サービスの考え方について意見を申し上げるのですが、それを指導という形でできるかは不安な部分がございますので、今の段階では表記を追加しますとは申し上げられませんが、検討させていただきまして、できるのであれば、追加したいと思います。</p> <p>それから 6 ページの地域包括支援センターの関係です。医療連携ということで、昨年度から言われております。ただ、連携体制をどうように構築するかが明確に見えてきておりませんので、今後の視野には入れておきますが、まだ載せられないかと思ひます。御理解いただきたいと思ひます。</p> <p>小規模多機能型居宅介護についての御質問については、今ほど福祉総務課長から説明がありましたが、119 ページの基盤整備計画を御覧ください。上から 4 番目の小規模多機能型居宅介護が複合型サービスへの移行ということで、単独の部分はマイナスという記載をさせていただいています。こちらにも注意書きを掲載しようと思ひます。ありがとうございました。</p>
福祉保健部次長	
委員長	<p>全体的な御意見でもよろしいですので、何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>委員からの御意見は、24～46 ページのグラフの説明で、未回答等はグラフの中から外したグラフを作った方がいいのではないかということによろしいですか。</p>
委員	<p>そうではなくて、無回答も含めないと 100%にならないので、無回答もグラフに必要です。誤解があったとすれば、46 ページに未回答があり、中間報告のときには集計途中ということで、未回答があったのかと思ひますが、今回は最終の計画書になりますので、途中段階ではない、最終的なデータに修正した方がいいという意見でした。</p>
福祉総務課長	<p>46 ページは確認をしますが、表記の間違ひで、「無回答」ではないかと思ひますので、確認いたします。表現の間違ひや、数値が集</p>

<p>委員長</p>	<p>計途中で未集計の部分が入っているのであれば、最終的に修正させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>簡潔に分かりやすく記載していただければと思います。</p> <p>22 ページの日常生活圏域別医療機関等の状況の表に筋力向上トレーニング開催か所数があります。越路・小国は空欄になっていて、開催が無いと思うのですが、中之島・与板は2回になっていて、開催があります。この違いは何によるのでしょうか。</p> <p>もう1点は、同じ越路・小国の部分を見ていただくと、見守り・配食など生活支援サービス等の地域福祉・在宅福祉サービス事業（ボランティア銀行）と福祉送迎サービス事業についても、何も数字が入っていないのは、越路・小国地域で全く開催が無いということによろしいですか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>まず、地域福祉の関係ですが、空欄のところは0ということでございます。地域ごとのサービスにつきましては、市町村合併後、旧長岡地域で行っているサービスについて、支所地域等においても実施する方向で、社会福祉協議会が中心となって、地域の中で啓発を行っておりますが、現時点では、空欄になっているところは、地域サービスが未実施という状況でございます。これは、全地域で実施する方向で努力をさせていただきますということで、今後の方向の中で記載してあります。</p>
<p>長寿はつらつ課長補佐</p>	<p>筋力向上トレーニング開催か所数の件でございますが、中之島・与板については、中之島地域と与板地域で、それぞれ1箇所ずつ開催している地域がございますが、越路・小国地域では開催している地域がございません。よろしく申し上げます。</p>
<p>委員</p>	<p>それは分かるのですが、どうしてばらつきが出てくるのかということです。</p>
<p>長寿はつらつ課長補佐</p>	<p>筋力向上トレーニングのマシンを持っている施設において、市で委託をしている関係で、ばらつきが出ております。</p>
<p>委員長</p>	<p>トレーニング機器やプログラムの予定がある施設が、その地域に</p>

長寿はつらつ課長補佐	<p>はないということですね。</p> <p>そうです。</p>
委員長	<p>それから、住民参加型については、地域の中で、福祉サービスやネットワークを住民同士で作っていきこうというような考え方のもので、未実施の地域については、これからやっていきこうということです。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
委員長	<p>そのほかに質問はありませんか。それでは、委員、第1期から携わってきた中で、全体的な感想や御意見はありますでしょうか。</p>
委員	<p>長岡市は非常に広くなりましたので、区分けが多くなっているなという印象を受けました。地域ごとの区分けと、特性をよく見て、ずいぶん緻密なプランをお作りになっていると思ひまして、心強く感じました。以上でございます。</p>
委員長	<p>委員どうでしょうか。</p>
委員	<p>私も地域に関わってしまひて、いろいろなボランティア活動や見守り活動をやっているのですが、こういう仕事をもっと広がっていけばいいなというように思っています。</p>
委員長	<p>住民参加型の活動を、これから大いに啓発して皆さんで進めていくということでよろしくお願ひします。</p> <p>進め方が不慣れで、皆さんから御意見をいただくことも少なかったかと思いますが、ここに書かれていますのは、第1回から第4回の会議を経て作った計画でございます。計画というのは作るだけのものではなく、今度はそれに向かって実施していくこととなります。そのような意味で、また皆さんの貴重な御意見、御指導をお願ひいたします。</p>
委員長	<p>(5) その他</p> <p>その他、事務局からございますか。</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>本日は、案をお示ししまして、いろいろ御意見いただきましたが、この点については、内容を事務局で責任を持って修正させていただきました。当推進会議の計画案ということで、長岡市へ報告させていただきます。その報告を受けまして、計画策定ということにさせていただきますたいと考えています。</p> <p>それと、策定の手順としまして、新潟県に対して意見を求めるということになっており、作業をしているところです。県からどういった意見があるか分かりませんが、意見があれば、それに対して、場合によっては若干の修正がございますので、責任を持って修正をさせていただきます。製本したいと思っております。形が整いますと、製本しまして、関係機関にお配りすることになります。委員の皆様方にもできましたら、すぐにお配りしたいと思っております。4月の末頃、若しくはもう少し後になろうかと思っておりますが、配布をさせていただきますので、御確認いただければと思います。</p> <p>それから、今ほど委員長からもお話がございました、この計画に基づいて事業を実施していくわけでございます。年度としては来年度ですけれども、進捗状況の確認のために、当委員会を年2回ほど開催する予定でございます。日時等については、また御連絡をさせてもらいますが、御意見をいただければと思います。</p> <p>また、当協議会の中に、地域密着型サービス運営部会というのがございます。これも5月、あるいは10月ごろに開催予定でございますので、その部会の委員の皆様には御足労をお願いしたいと思います。</p> <p>また、同じく地域包括支援センター運営部会もございます。これについても年2回ほど、地域包括支援センターの運営等について、御意見いただく会を開催する予定でございますので、日時等が決定しましたら、御通知をさせていただきますので、ぜひ御参加いただきまして、御意見いただければと思っております。今後のスケジュール等については、以上でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、今回いただいた御意見について、訂正や加筆をしまして、第5期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画についての審議の結果として、長岡市に提出したいと思っております。</p> <p>それでは、進行を終わらせていただきます。マイクを事務局にお</p>

<p>福祉総務課長補佐</p>	<p>返しします。</p> <p>大変ありがとうございました。閉会にあたりまして、水澤福祉保健部長からあいさつを申し上げます。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>皆様、大変ありがとうございました。今ほど、その他で福祉総務課長が申しあげましたように、この推進会議としましては、今後も進捗状況を含めて、また御議論いただくことがありますけれども、ひとまず第5期計画の検討は一区切りということで、先ほど御意見・御指摘いただいたことを再整理しまして、完成形を作ってまいりたいと思っております。</p> <p>先ほど若干申しあげましたが、今日、3月議会の会議がありまして、これに関わる関連予算も議決いただいたいところでございます。先ほど若干御質問がありましたが、議会の委員会の審議の中でも、介護保険事業計画については、特にサービス内容と今後どういう展開がされるのかということと、併せてどういう負担がかかるのかということが焦点となって議論がありました。やはり保険料が上がるということに対して、十分に市民の方に説明するべきだということと、その中でサービスは一定程度向上させるということが前提であるということであれば、そのこともきちんとお知らせをして、その応分の負担をいただきたいということ。それから、多少なりとも軽減策も取っていくので、その辺は一定の評価をするため良しとしたいという議論をいただきました。</p> <p>私どもも、国の新たなサービスの展開について注視しながら、国の議論の中身が分からない中での計画のまとめ方でしたが、これは国ではなく地域の計画でございますので、こういった形でひとまずまとめさせていただきます。3つの法律に基づく計画を一緒にしているので、委員の皆様にも御理解いただくのに手間取るような内容になりました。法律に基づく計画ではございますが、長岡市の地域の計画には間違いありません。そういう意味では、これをベースに行政だけではなく、介護サービスをされている施設の皆さん、それから利用者の皆さん、そういったところに常に目配せをして、どういように実際の現場で展開されているかについて、市としてもいろんなところにアンテナを張って、情報収集や相談をしたり、こういった場で御意見いただいたりしながら確かめていくものだろうと思っております。国の議論の中でも財政問題が非常に厳しい状</p>

<p>福祉総務課長補佐</p>	<p>況だと伝えられておりますが、その中でも、高齢者福祉が現実に伴った形で、一人ひとりの方の提案に結びつくということが、最終の目的だと思います。そういう意味では、皆様からその都度、御意見いただきたいと思っております。</p> <p>長くなりましたが、4回の会議に渡りまして御議論いただきまして、ありがとうございました。ここで締めさせていただきます。本日は、ありがとうございました。またよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。なお、この会議の議事録は、後日、皆様にお送りいたします。また、長岡市のホームページにも掲載させていただきますので、よろしく願いいたします。本日は大変ありがとうございました</p>
<p>8 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>